



iwork-pro.jp

クリックして  
Webサイトへ  
アクセス

# アイ・ワーク News

iwork News Vol.10



# Seikyou Internet

## 生協インターネットのサービス終了で

1996年のサービス開始から28年、生協インターネット(プロバイダー)が先月サービスを終了した。弊社は、1996年の立ち上げ時の「ロゴマーク」の制作から「募集チラシ」・「利用ガイド」・「利用マニュアル(Windows版にMac版)」など広報の制作に深く関わってきた。

今でこそ「マニュアル類」は、ユーザーがwebサーバーにあるPDFをダウンロードして使う仕組みになっているが、当時は大量印刷し、全国拠点に配する新学期前の大仕事になっていた。ちょうど年度末にあたり、デザインデータを整理するとその後の印刷、製本、配送をおさえるのに随分神経を使った記憶がある。それも大学生協中国・四国事業連合に「生協インターネット事務局」が置かれていた時までなので、今の職員は、全く知らない話である。

その後、NRIネットコムに移管してからは、取引がなくなったけど、プロバイダー事業の淘汰が激しくなる中で、プロバイダー事業一筋で組合員サービスを28年に渡って提供し続けたことは、協同組合への信頼があったからのことといえる。

広報制作とともに、弊社のメールアドレスは、生協インターネットアドレス※を使うことにした。このメールアドレスは協同組合の広報制作では、実に有効だった。生協の取引先様とは直接やりとりをする機会は大変多く、このメールアドレスのおかげで警戒心を抱かれずにスムーズにコミュニケーションがとれてきたことである。また生協(Seikyou)のネーミングは、社会への響きが良く名刺交換の相手には、やさしい印象をもたれている。

一つの製品サービスのライフサイクルは、30年程度という説がある。その説に従えば、生協インターネットのプロバイダーサービスも納得のいく年月であったといえる。只筆者には、事業の多角的展開を志向し、協同組合の事業戦略として計画化され、実践されていれば、テクノロジーに長けた生協職員が育ち、構内でITソリューションビジネスが発揮され、今と違った景色を見ることができたかもしれないと、サービス終了で思っている。関係者の皆様、お疲れ様でした。

※2023年7月より弊社もメールアドレスを変更した。

生協インターネットの会員の皆様へ

プロバイダ事業終了のお知らせ

生協インターネット(プロバイダ)は2024年1月末をもって、事業を終了し、ご利用いただいている全てのサービスを終了いたします。

生協インターネットの会員様向けに2024年1月11日(月)より一部変更いたします。最終終了の経路についてはお案内書をお送りいたします。本案内書をお読みいただき、今後の契約更新とインターネット利用について、必要な経路にお手続きをお願いいたします。

※2023年7月より弊社もメールアドレスを変更した。

生協インターネットサービス終了時期までの流れ

22年	23年	23年	23年	2024年	2024年
1月	3月1日	3月1日	12月1日	1月1日	1月末
2年プランの方は2024年1月31日までの特別更新となります	生協インターネットの会員様向けに2024年1月11日(月)より一部変更いたします。最終終了の経路についてはお案内書をお送りいたします。本案内書をお読みいただき、今後の契約更新とインターネット利用について、必要な経路にお手続きをお願いいたします。	個人の方は2024年1月31日までの特別更新となります	個人の方もこの期間でもう一度は、個人更新をお申し込みください	全てのサービスが終了します	

生協インターネット サービス終了に伴う内容  
インターネットへの接続 2024年1月末で終了します。プロバイダを乗り換えをお願いします

www  
@  
Seikyou Internet  
http://www.seikyou.ne.jp



“リーダーしっぽ”  
代表取締役社長 福原  
T.FUKUHARA

# ☕ 甘やかしのススめ



プロレスファン2年生  
デザイナー 田部  
M.TABE

年始から胸が痛む出来事が続きましたが皆様がかがお過ごしでしょうか。

今回は趣味のプロレスについてお話ししたデザイナーの田部です。

このたびの令和6年能登半島地震により被災された皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

とあるカリスマレスラーは言います。「今を楽しめない人に、未来はない」と。

災害などに見舞われるたび日常のありがたみに気付かされます。それを心に留めて、何事も楽しむ姿勢・

楽しめる余裕があれば、課題や逆境も乗り越えられる気がしますが。慌ただしい日常に追われて心にゆとりが

持てない……そんな時は自分を労り、甘やかす時間を作ってみませんか。

今回は私なりの「甘やかす時間」についてお話しします。

自分を甘やかす＝好きなことにとっぷり浸かる時間、と考えます。

「三度の飯よりコーヒーが好き」な私は日々のコーヒーブレイクを大切にしています。

毎日ほんの数分、好きなことに没頭する。頭が空っぽになり心が満たされると精神的なゆとりが生まれる気がします。

私のこだわりを集めた至福の時間はこうです。

まずはコーヒー豆。お気に入りには、京都三条の喫茶店「六曜社地下

店」の「インド(深煎り)」。ずっしり重めの苦みと、ほうじ茶のようにスッキリとした後味。(※素人の感想です。悪しからず……) シャキッと目が覚めリフレッシュできます。

次に大切なのがコーヒーのお供。コーヒーといえば洋菓子……いえいえ、実はおまんじゅうなど和菓子との相性も抜群です。この日のお供はお正月用に取り寄せた栗きんとん。

時間をかけて丁寧に作られたほっこり素朴な味わい。ほんのりやさしい甘さをコーヒーが引き立てて、これぞ

「口福」です。

最後は器選び。工芸作品を集めるのが趣味で、個展に足を運んで作家さんから直接購入することもあり

ます。一点一点表情が違う手仕事ならではの質感が愛おしく、中でもお気に入りには陶芸家・岩

田圭介さんのカップ。水木しげるさんの漫画に登場しそうなぼってりとしたフォルムがたま

りません。この日はお供の栗きんとんと合わせて

和のしつらえに。好きなものを並べて、まさに「眼福」です。

こんなふうには、毎日ほんのひと時自分を甘やかす時間を作ってみませんか。あれこれ揃えなくても

温かい飲み物があれば、それで十分。大切なものはほっとできる時間を確保することかもし

れませんか。

日脚は伸びても寒さは厳しい今日この頃。どうぞご自愛くださいませ。



工芸作品とともに、心に刺さったレスラー名言も収集中。今後も登場するかも!?